

(学校運営協議会・報告様式)

令和7年度 第2回 白鳥中学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和7年7月3日(木) 8:30~10:00

2 場 所 会議室

3 あいさつ(学校長、委員長)

委員長: 登校の様子について、ヘルメットを被り、顎ひもをちゃんと締めている生徒がほとんど。自分の命を守るという意味で、決めたことを守れている。朝の会の様子を見て、今までは、予定黒板の授業内容として「いつもの」という表記が見られたが、今年は全学年、きちんと内容が書けていてよかった。

校長: 比較的落ち着いた環境の中で、学習に取り組んでいる。1学期は体育祭、修学旅行等の行事があったが、夏休みまであと2週間ほど。しっかり取り組んでいく。

4 協議内容

(1) 生徒指導について(堀生徒指導主事より)

【各学年の様子】

1年: 5つの小学校から入学。6月になると、緊張も緩んで生徒間のトラブルが起きているが丁寧に対応している。

2年: 昨年は、善悪の判断つかない子が多く、トラブルも起きていたが、今年は、心身ともに成長しトラブルも減っている。

3年: 学校行事を通して仲間づくりを進めている。中体連を終えて、受験へ切り替える時期。

【協議】

委員: 生徒指導は「全教職員が一貫した指導」を行うことが難しい。どのようにしているか。

生指主事: 職員の同僚性が大切。放課後に対応で困っている先生の話聞く。その都度、生徒指導部会でも確認し統一している。

委員: 制服について。制服や体操服について授業を受けているが、規定はどうなっているか。

生指主事: 登下校は体操服の生徒が多いが、朝の会以降は制服で受けることになっている。昨年から、子どもの意見で「体育の後の1時間は体操服で過ごす」ことになった。

委員長: 子どもたちの意見をしっかり聞いてほしい。中学生なりの議論の上、「自分たちで決めたことは守る」ということが大切。

委員長: 時代の変化にどのように対応していくか。基準が変わってきている。スマホで必要以上の情報が入ってくる中で、生徒指導は難しい。

生指主事: してはいけないことは、時代が変わっても変わらない。先生たちのアップデートも必要。

委員: 不登校について。いじめられた子が来られず、いじめた子が教室で過ごすというのは、おかしいのではないか。

生指主事：不登校になる前に、未然に防ぐことが大事。不登校の生徒で、人が多いのが苦手という生徒は、別室で過ごすこともある。

(2) 勤務時間の縮減について

一般企業の勤務時間縮減策や働き方改革と違い、学校は相手が「人」。この時間内に収めよというのは、難しいこともあると思う。引き続き、教員の働き方改革を進めてほしい。

(3) 教育支援課より

朝の登校の様子、朝の会の子どもたちの表情を見られてよかった。

校則の見直し等、子どもの意見を取り入れるように言われているが、難しい点もある。バランスをとりながら進めることが必要。

いじめのことについて。いじめられている子を一番大事にする。まずは、ケアをする。その子が落ち着いて授業を受けることを優先すると、別室対応することがある。

勤務時間の縮減について。教員の仕事はきりが無い。先生たちが安心して仕事に取り組めるよう、学校、地域、ボランティアの連携が重要。

次回 9月18日(木)18:30～(会議室)